

弘濟寺がわら版

第13号
発行:平成16年9月17日
編集:弘濟寺 玉野千永
http://www.geocities.jp/kosaimitsuji/

三福寺だんご いかがですか？

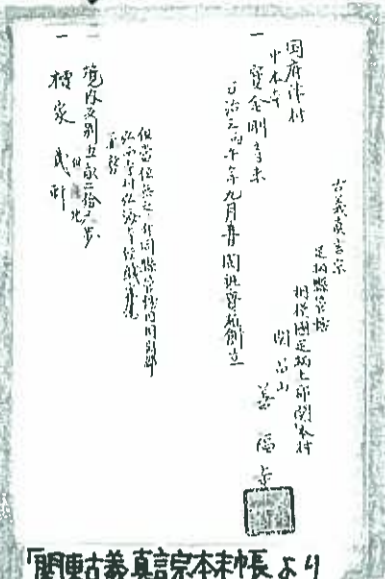
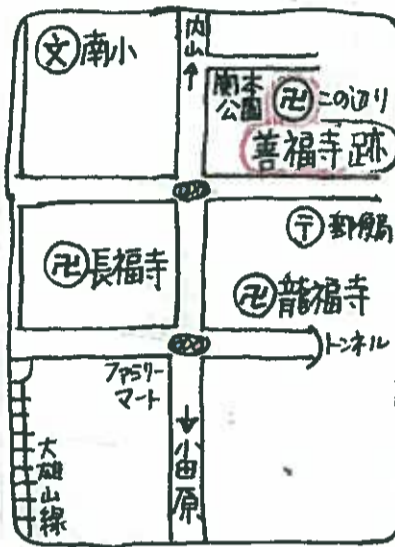
当寺にひっそりとたたずむ 大日如来坐像 を知っていますか？
本尊さんの右斜め上に祀られています。



木造大日如来坐像

話は変わりますが、現在関本にお寺が二つあります。ファミリーマートの信号のところの「龍福寺」と鈴木医院のところを入った場所にある「長福寺」です。地元の人々は、親しみを込めて「龍福寺」のことを「下寺」、長福寺のことを「中寺」と呼んだりします。

「えー！じゃあ上寺は？」と言いたくなるでしょうが、実は明治の初めまでは「上寺」はありました。今の関本児童公園の辺りに「善福寺」



関本古義真言宗本陣長より

という真言宗のお寺がありました。(現在下野田にある善福寺とは、全く別のお寺です。)それが、明治政府のとした宗教政策【廃仏毀釈】により、日本中の数々のお寺が廃寺におい込まれました。関本の善福寺もその一つです。その時善福寺のご本尊「大日如来さん」と脇仏「如意輪観音さん」は、当時の地域の人々のご尽力で、売りに出されることもなく当弘濟寺に柳され本堂内陣の両側に高く祀られて今に至っています。

江戸時代以前に、関本にあつた三つのお寺。偶然か意図的かわかりませんが、真ん中に【福】の字があつたので、関本の「三福寺」と呼ばれ、坂の上から順に「上寺」「中寺」「下寺」と親しまれていたようです。

弘濟寺では 当山本尊並びに廃寺になつた善福寺のご本尊さん等をお祀りするため、お彼岸のお中日に参詣の皆様には「三福寺だんご」を振るまい彼岸法要を執り行います。是非ご参詣下さい。

○9月23日(木) 10時より売切れまで 1本 100円 (おひとり様 1本限定です)

玉野家 手作りです

ぎんなん



地蔵堂隣りの大いちょうの木からは 今年も沢山の銀杏が落ちました。どうぞご自由に節度を守ってお拾い下さい。素手だとかぶれます。

私はビニール手袋をして小さい果肉をむき、干してから使っています。土の中に埋めて果肉をくさらせてから使う方もいます。一番美味しいのは 煎ったものです。封筒の様な紙の袋に入れ電子レンジで1分位加熱すると食べれます。割れていなければ、時間を少し増やしてみてください。

ヒカンバナ 別名 マンジュシャゲ (曼珠沙華)

全草、とくに鱗茎にアルカロイドを含み、食すると吐き気、下痢をおこす有毒植物。別名の由来は葉が出る前に「赤味く、真先に咲く」の音に仏教の文字を当てたという説がある。



大黒のお茶の時間ですよ

阿闍梨餅 しっかりと餅製の皮で粒あんが包んであります。ちょうど良い甘さで、もちもちした皮が後引く美味い阿闍梨というのは僧侶の位。先代真海も阿闍梨でした。
◆京都 満月 075-791-4121 地方発送可 ◆